



# 中核市・秋田市（人口30万8千人）

岐阜市議会総務委員会で視察

## 新庁舎と総合窓口システム事業など 庁舎駐車場・来庁舎用約300台 公用車約140台は全て庁舎敷地内



平成28年5月6日撮影

### 建物概要

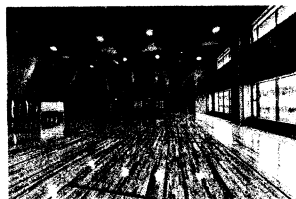
敷地面積	25,851.40 m <sup>2</sup>
建築面積	5,676.37 m <sup>2</sup> (新庁舎部分)
延べ面積	30,964.86 m <sup>2</sup> (新庁舎部分)
構造	鉄筋コンクリート造(免震構造)
規模	地上6階、塔屋1階、地下1階
高さ	29.5m
エレベーター	5基
エスカレーター	2基
設計者	日本設計・渡辺佐文建築設計・コスモス設計 秋田市新庁舎建設設計共同企業体
施工者	清水・千代田・シブヤ・田村建設工事共同企業体
工期	平成25年12月～平成28年4月

10月22～24日、岐阜市議会総務委員会で秋田市と盛岡市（岩手県）の視察に参加させて頂きました。秋田市は新庁舎建設と窓口業務について、盛岡市は公共施設の再

中央市民サービスセンター



子育て交流ひろば



多目的ホール

配置事業について勉強をさせて頂きました。秋田市庁舎は平成28年に完成し、地上6階建てで当面の手狭な面は、将来の人口減少も見越して建設されたとの事です。

計画は経過が古く昭和63年の庁舎建設準備委員会設置まで坂上ります。平成9年には想定事業費約200億円とされましたが、最終的には約146億円で完成しています。

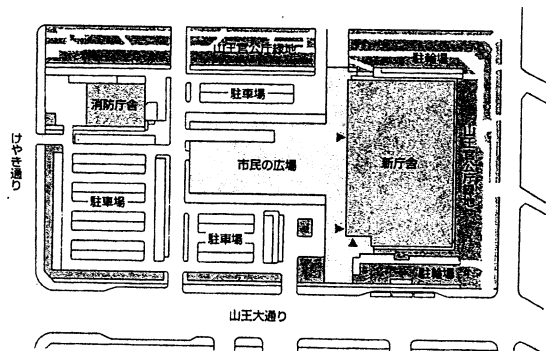
2～3階に市民サービスセンターが配置され「子育て交流ひろば」などへの参加者もあり市民の日常的来庁者増加に繋がっているようでした。来庁者用駐車場は約300台分が確保され、公用車も約140台が本庁舎敷地内に配置されているとの回答でした

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

# 秋田市は市民参加で設計

## 平成23年 基本設計技術提案の公開ヒアリング

### 24年 基本設計 25年 実施設計・入札・工事 28年完成



新庁舎に非常用食糧等の備蓄倉庫もある。

秋田市は今ある「資産を活用し、長く使い続けられる庁舎」の考えで、旧庁舎解体跡地は「市民の広場」に整備し、多目的空間として活用。分館は耐震改修し、職員減少の際は新庁舎に集約計画。新庁舎は100年間使用続ける中長期修繕計画を作成したとの事です。1階の市民ホールは、災害時は机などは移動し、被災市民の一時避難場所になると想定されていました。

### 窓口受付機械（番号発券機）で外国語対応、フロアマネジャーも

戸籍等の受付機械が外国語にも対応する機械になっていました。役所に何回も来庁されない市民にとっては、これも「戸惑い」の原因にならないか？ 各機械にフロアマネジャーが付いていましたが、どのような選択がよいのか、一考必要では？ 窓口で職員が「市民の要件を伺いながら、申請書を代行作成」されていましたが、申請時の「誤

り」が原因で後のトラブル発生とならないか？ 「市民には内容確認後、署名をしていただきます」の説明でしたが、視察時（火曜日・午前）の来庁者数が、岐阜市とは違うように思えました。

#### 事業費

庁舎建設事業費		財源内訳	
本体工事・関連工事等	約137億円	社会資本整備総合交付金	約4億円
備品・移転費用等	約9億円	庁舎建設基金	約81億円
		合併特別債	約53億円
		一般財源	約8億円
計	約146億円	計	約146億円



松原のりかず  
☎058-253-2500